Professional Mixing Controller

PMC-20SL

取扱説明書

仕　様

—本体—

入力レベル／インピーダンス

MIC	：−46dB/3.3KΩ
LINE	：−10dB/50KΩ
PHONO	：−42dB/56KΩ（RIAA イコライザー補正）
EFFECT RETURN	：−10dB/50KΩ

出力レベル／負荷インピーダンス

OUTPUT 1、2	：−10dB/10KΩ以上
OUTPUT（HIGH）1	：0dB/10KΩ以上
EFFECT SEND	：−10dB/10KΩ以上
PHONES	：最大 25mW/8Ω

周波数特性

LINE〜OUTPUT	：20〜20KHz +0/−3dB
PHONO EQ 偏差	：±1dB

SN比

LINE〜OUTPUT	：80dB（IHF-A WTD）

総合ひずみ率（THD）

MIC〜OUTPUT	：0.03%（1KHz）以下
LINE〜OUTPUT	：0.03%（1KHz）以下

外形寸法

W×H×D	：482×105×220mm
重量	：4.5kg

—サンプラー／ディレイ部—

AD/DA変換	：ADM方式
周波数特性	：20〜15KHz（MULTI MIN）
SN比	：75dB（1HF-A WTD）

ごあいさつ

このたびはVESTAX PMC-20SLプロフェショナル・ミキシング・コントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

特長

●4バンクデジタルサンプラーを内蔵。2秒×4バンク、4秒×2バンク、8秒×1バンクのいずれかのモードでのサンプリング、再生が可能なほか、デジタルディレイ（最長2秒）としても使用できます。

●本体内にエキサイターを内蔵。音の輪郭を際立たせる3次高調波成分を合成することにより、古いレコードも最新のサウンドクォリティに高めることが可能となりました。

※本機に使用しているエキサイター回路はAphex Aural Exciter®の回路を使用しております。Aphex Aural Exciter®はAPHEX SYSTEMS LTD.の登録商標です。

●新方式トランスフォーマースイッチ採用。クロスフェーダーキャンセル方式により、よりクィックでタイムリーなトランスフォーマー・スクラッチが可能となりました。また、入力切換スイッチを使ってのトランスフォーマー・スクラッチも可能となるよう、PGM Bでは左側に、PGM Cでは右側にそれぞれPHONOを配置し、クロスフェーダーと同じ方向のアクションでカットイン／アウトできるよう設計しました。

●クロスフェーダーは45%、20%の2種類を用意し、交換可能としました。

※製品購入時には45%フェーダーが標準装備されています。20%フェーダー御希望の方は別売のCF-20S（定価4,000円）を御購入ください。

●クラス初のデュアルマスターコントロールにより、エントランス/フロアー、ブース/フロアー等場所、用途に応じてレベルを分けることができます。また、わずらわしいパッチング操作をすることもなく、MTRに直結することも可能となりました。更に、各マスター毎にマスターバランスを装備し、様々な音場設定の可能性が広がりました。

●各プログラム毎にエフェクトセンドボタンを装備し、ソース別のエフェクト効果が瞬時に得られます。また、エフェクトセンドボリウム、エフェクトレシーブ(ミックス)ボリウムをマスターセクションにレイアウトし、常時最適なレベルセッティングが行なえるよう配慮されています。

●レベルインジケーターは出力表示（マスター1 L、R）、入力表示（PGM 2、3）の切換方式。出力レベルをチェックすることは勿論、ミックスする時2つのソースのレベルバランスを合わせたり、BPMを視覚的にキャッチしたりと、用途に合わせて様々な使い方ができます。

目次

アフター・サービス

1．本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上、大切に保管して下さい。

2．保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理いたします。

3．保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または当社サービスにご相談下さい。
保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

安全上のご注意

●本機は交流（AC）電源100V専用ですので直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用することはできません。なお、電源周波数（50Hzまたは60Hz）の調整は不要です。

●電源プラグをコンセントから抜く時は必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。

●水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。

●ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびピン等の金属類を入れないようにご注意下さい。
感電や故障の原因となります。

●本機外装のカバーを取りはずして内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、当社はその責任を負いません。

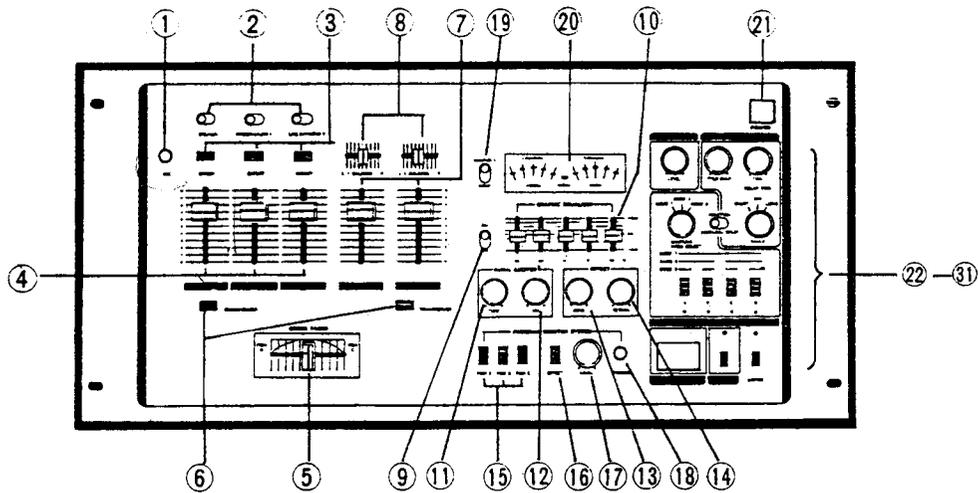
設置上のご注意

常温（5～35℃）、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面をふかないで下さい。塗装がはげることがあります。

ご注意

PMC-20SLの本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダー等をパーツの耐久力を超えた苛酷な使い方、例えばスクラッチなどでお使いになると、通常パーツの耐久時間として保証されている時間（1年）以上を、1ヵ月の内にお使いになられることがあります。
その場合の交換につきましては弊社の判断により実費を請求させて頂きます。
また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合には、お買い上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。

各部の名称と機能

フロントパネル

①MIC INPUT JACK

マイク入力ジャックです。ダイナミック型マイクロホンを接続してください。

②INPUT SELECT SWITCH

各入力フェーダー(④)にどのソースを入力するかを選択するスイッチです。プログラム毎に3つの入力の中から選択できます。プログラムは次のようになっています。

PGM 1 —— MIC、LINE 1、LINE 2
PGM 2 —— PHONO 1、LINE 3、LINE 4
PGM 3 —— LINE 5、LINE 6、PHONO 2

※各入力には次のソースを接続してください。
MIC：ダイナミックマイク
AUX、LINE：CD、カセットデッキ、サンプラー、等
PHONO：ターンテーブル(MM型カートリッジ)
※PHONO入力にMC型カートリッジをご使用の際はヘッドアンプが必要となります。

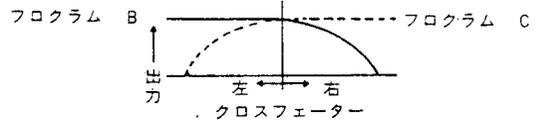
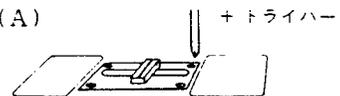
③EFFECT SWITCH

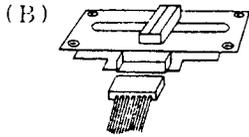
内蔵デジタルディレイ、又はエフェクト・センド／リターン端子に接続した外部エフェクターに信号を送る時押してください。内蔵のサンプラー／ディレイをディレイモードにセットした時のみ、このスイッチを押したチャンネルの信号がサンプラー／ディレイ回路に送られます。サンプラーモードで御使用の際は、モニターセレクトスイッチ(⑮)でサンプリングするチャンネルを選んでください。一度に2つ以上のプログラムのスイッチを押した時は、それらのプログラム信号がミックスされて内蔵デジタルディレイ、又は外部エフェクターに送られます。

④INPUT FADER

各プログラムの入力レベルを調整します。通常7～8程度でお使いください。

⑤CROSS FADER

左側に移動するに従いプログラムBの音が、右側に移動するに従いプログラムCの音が、それぞれ出力されます。また、中央部では両方の音が同時に出力されます。

クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになった時や、20㎜フェーダーをご使用の際はクロスフェーダーユニットを交換してください。交換の際は、下記の要領で行なってください。(A)

クロスフェーダーユニット取付ネジ(4本)を外します。

(B)

クロスフェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。

(C) 新しいクロスフェーダーユニットにコネクターを差し込み、クロスフェーダー取付ネジ(4本)で固定します。

⑥TRANSFORMER SWITCH

クロスフェーダーを左側、又は右側に振り切ったとき、反対側のスイッチを押した時だけそのプログラムが出力されます。このスイッチによりトランスフォーマー・スクラッチが容易に行なえます。

⑦MASTER FADER

マスター1、マスター2の各出力レベルを調整します。

⑧MASTER BALANCE

マスター1、マスター2各出力のLチャンネル、Rチャンネルのバランスを設定します。

⑨GRAPHIC EQ. ON/OFF SWITCH

5バンド・グラフィック・イコライザー(⑩)のオン/オフスイッチです。

⑩5 BAND GRAPHIC EQUALILER

100Hz、300Hz、1KHz、3KHz、10KHzの各周波数帯域のレベルをLチャンネル、Rチャンネル同時にコントロールするグラフィック・イコライザーです。

⑪EXCITER TUNE VOLUME

内蔵エキサイターの有効となる周波数を調整するボリウムです。左に回すと高くなり、右に回すと低くなります。

⑫EXCITER MIX VOLUME

エキサイターのミックスレベルを調整するボリウムです。左いっぱいでエキサイター効果はゼロとなり、右に回すほど効果が増大します。

⑬EFFECT SEND VOLUME

内蔵サンプラー/ディレイ、又はエフェクトセンド端子から外部エフェクターに送る音量を調整します。但し、内蔵サンプラー/ディレイに信号を送る場合は、ディレイモード時のみ有効となります。

⑭EFFECT RETURN VOLUME

外部エフェクターからのエフェクト音量を調整するボリウムです。

⑮MONITOR SELECT SWITCH

PMC-20SLのモニターシステムはプログラム・モニター・システムを採用しており、ヘッドホンの右側からはMASTER 1から実際に出力している信号をモニターし、左側からはこのモニタースイッチで選択したプログラムの入力信号をモニターするよう設計されています。これにより、現在出力中のソースと、次に出力するソースを同時にモニターし、レコードの頭出し等を容易に行なえます。これらのスイッチで選択した入力信号は、入力フェーダー、クロスフェーダーの位置に関係なく、常時モニター可能となっています。

また、内蔵のサンプラー/ディレイをサンプラーモードにセットした時、このスイッチでセットしたチャンネルの信号がサンプラー/ディレイ回路に送られます。ディレイモードで御使用の際は、エフェクトスイッチ(③)でディレイ回路に送る信号を選択してください。

⑯EFFECT MONITOR SWITCH

エフェクト・センド リターン・ジャックに接続された外部エフェクターからのエフェクト音をモニターする時押してください。エフェクト・リターン・ボリウムの位置に関係なく、常時モニターできます。

⑰MONITOR LEVEL VOLUME

モニター用ヘッドホンの音量を調整するボリウムです。

⑱HEADPHONE JACK

モニター用ヘッドホンを接続してください。

⑲METER SELECT SWITCH

MASTER 1側に倒すとレベルメーターはマスター1出力のLチャンネル、Rチャンネル各出力信号を表示し、INPUT側に倒すとPGM B、PGM Cの各入力レベルを表示します。

⑳LEVEL METER

㉑POWER SWITCH

㉒MIX

サンプラー／ディレイの再生音量を調整するボリウムです。

㉓FEED BACK

ディレイモード時、ディレイ音を繰り返す回数を調整するボリュウムです。
右に回すと繰り返す回数が多くなります。

㉔FINE

ディレイタイム、サンプリングタイムの微調整を行なうボリウムです。
右いっぱいでディレイタイム、又はサンプリングタイムは最長となります。

㉕RANGE

ディレイタイムを大まかに設定します。
※このスイッチは、サンプラーモード時は無効となります。

㉖FUNCTION

内蔵サンプラー／ディレイをサンプラーとして使うか、ディレイとして使うかを設定するスイッチです。

㉗SAMPLING MODE SELECT

サンプリングモードを選択するスイッチです。
モード1で　1バンク　最大サンプリングタイム8秒
モード2で　2バンク　　〃　　各4秒
モード3で　4バンク　　〃　　各2秒　となります。

㉘BANK SWITCH A, B, C, D BANK INDICATOR

サンプリング、又は再生するバンクを選択するスイッチ及び選択したバンクを表示するLEDです。
サンプリングモード1でバンクAのみ使用可能
　　〃　　2でバンクA及びCが使用可能
　　〃　　3でバンクA、B、C、Dが使用可能となります。

㉙PLAY SWITCH, INDICATOR

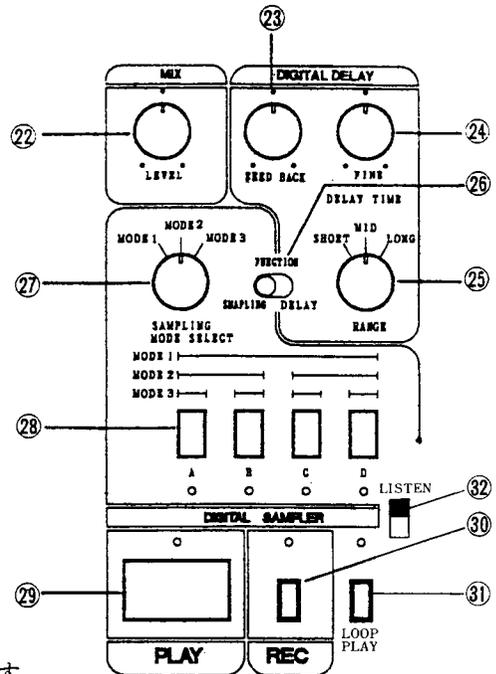
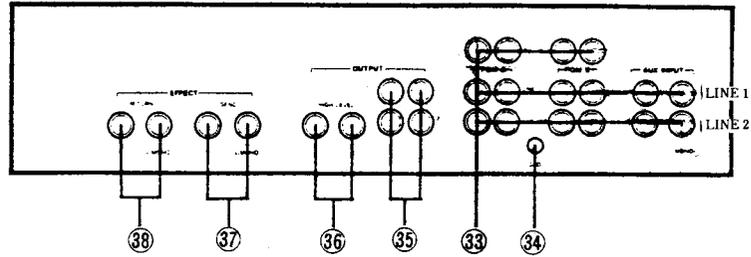
このスイッチを押している時のみ設定したバンクにサンプリングされた音が再生され、インジケーターが点灯します。一度ボタンを離すと再生は中断され、再度押した時はサンプリングされた内容の頭から再生を開始します。

㉚REC SWITCH, INDICATOR

このスイッチを押すと、設定したバンクにサンプリングを開始し、バンクの長さいっぱいまでサンプリングを続け、バンクのメモリーが全ていっぱいになった時点で自動的にサンプリングを終了します。
サンプリングしている間、インジケーターが点灯します。

㉛LOOP PLAY SW, INDICATOR

このスイッチを押すと設定したバンクのサンプリングされた音が繰りかえし再生されます。この時再生しているバンクのバンクインジケーターが点灯し、どの音が、どのバンクにサンプリングされているかが表示されます。又、モード1、2の時には、各バンクの再生順に順次点滅しますのでサンプリングする際のタイミングをはかる目安にして下さい。

リアパネル

㉜LISTEN

サンプラー／ディレイの再生音をヘッドホンでモニターする時に使用します。このスイッチをONにすると、ミックスレベルボリウム(㉒)をMINにセットした状態でもモニター可能となり、外部に音を出さずサンプリングされた音、又はディレイ音を確認することができます。

LISTENオンで、インジケーターが点灯します。

LISTENオンのときは、ヘッドホンのLチャンネルはサンプラー／ディレイの再生音のみモニター可能となり、モニターセレクトスイッチ(⑤)で選択した音は聞こえなくなりますのでご注意ください。

㉝PGM 1、2、3 INPUT LINE 1～6
PHONE 1、2
各L、R〔RCA JACK〕

PGM A. B. C の各入力ジャックです。LINE入力にはCD、カセットデッキ、サンプラー等ラインレベルの機材を、PHONO入力にはターンテーブル（MMカートリッジ搭載のもの）を接続してください。

※LINE入力のみを使用し、PHONO入力を使用しない時はショートピンプラグ（別売）を、PHONOジャックL、Rに接続してください。PHONOジャックをオープン状態にしておくと、音もれ（クロストーク）の原因となる場合があります。

㉞GROUND TORMINAL

ターンテーブルのアースコードを接続してください。

㉟OUTPUT JACK 1、2　L、R〔RCA JACK〕

マスター1、マスター2の各出力ジャック(−10 dB)です。プリアンプ、パワーアンプ、レコーダー等に接続してください。

㊱OUTPUT JACK 1(HIGH) L、R〔PHONE JACK〕

マスター1のハイレベル出力ジャック(0dB)です。OUTPUT JACK 1 L、Rと同じ内容が出力されます。パワーアンプ等に接続してください。

㊲EFFECT SEND JACK L(MONO)、R
〔PHONE JACK〕

外部エフェクターに信号を送るジャックです。モノラル・インプットを持ったエフェクターを使用する際はL(MONO)端子をお使いください。

㊳EFFECT RETURN JACK L(MONO)、R
〔PHONE JACK〕

外部エフェクターの信号を受けるジャックです。モノラル・アウトプットを持ったエフェクターを使用する際はL(MONO)端子をお使いください。

接続例

Vestax®
VESTAX CORPORATION
2-37-1, KAMIUMA, SETAGAYA-KU,
TOKYO, 154 JAPAN
TEL:03(412)7011 FAX:03(412)7013
TELEX:J32644(SHIINOMI). CABLE:FTSSPACO

MAY-1990 PMC-20S VE